

授業科目

臨床栄養学実習III (臨地)

担当教員名 永井 徹	対象学年	3	対象学科	健栄
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	3	時間数	135

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

学内で修得する知識、技術を栄養管理の実践の場面に適用し理論と実践を結びつけて理解する。医療機関に働く管理栄養士が医療の現場でどのような業務を行っているかを学ぶとともに実習期間中での課題発見、解決を通して栄養評価・栄養状態の判定に基づく適切なマネジメントを行うために必要とされる専門的知識と技術を学ぶ。

授業の目的

傷病者の病態や特徴に基づいた適切な栄養管理を行うために、実際に療養している患者と治療に関わる医療職に接して、医療における栄養管理の重要性を理解し、対象患者の生き方を尊重した栄養管理計画が立案できることを目指す。

学習目標

1. 医療施設における食事提供、衛生管理を理解できる。
2. 医療施設における栄養食事指導、栄養教育を理解できる。
3. 医療施設における管理栄養士の役割と他部門との連携について理解できる。
4. 栄養サポートチーム (NST) などの医療連携チームにおける管理栄養士の活動と位置づけを理解できる。

授業計画

授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考
実習期間 9月中の3週間を予定	学習方法：各病院にて実習
実習施設 新潟県内の病院	研究課題：担当教員に相談し、各施設担当者と協議、決定する
学習内容 病院施設の概要と栄養部門の位置付け	指導担当者と相談
病院の食事提供システムと関連業務	担当管理栄養士による指導
医療職としての基本的マナーおよびコミュニケーションスキルを学ぶ	担当医師：各施設の指導担当
患者教育の進め方	担当管理栄養士および病院内の医療関係者による指導
傷病者への食事提供に係る衛生管理	担当管理栄養士による指導
献立作成、調理業務から配膳（食事が提供されるまでの作業工程）業務など給食の運営に関する内容	担当管理栄養士による指導
実習方法 1施設2～4名のグループを編成し、研究課題を設定し実習する	

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	糖尿病食品交換表第7版				900円+税	
	腎臓病食品交換表第9版				1,500円+税	
	食品成分表					
その他の資料	臨地実習の手引き					

評価方法

実習終了後に学生が提出するレポート

履修上の留意点

各病院の指導担当者は、多忙な業務の中で実習生を受け入れているため、栄養管理部門の関係者、他の医療従事者に迷惑をかけないように留意する。また、実習に向けて、研究課題のテーマ設定を行い、文献や資料を検索し準備しておく。

オフィスアワー・連絡先

研究室：F206
toru-nagai@nuhw.ac.jp

質問、相談は上記アドレスまで、ご連絡下さい。